

科目: 体育	単位: 3	学科: 全学科	学年: 1年
教科書: 大修館「現代高等保健体育改訂版」		補助教材: 大修館「Active Sports 2020」	
科目の概要と目標: ・自己の体力を把握させ適切な体力向上の方法を学ばせる。 ・球技の基礎的な技能を身につけさせ楽しく目標をもってゲームが出来るようになる。			
単元	学習内容	到達目標	
体育理論 体づくり運動 新体力テスト	スポーツの歴史 文化的特性 現代スポーツの特徴 体の使い方 補強運動 サーキットトレーニング 記録の測定と評価方法	スポーツの歴史的発展と変容について理解できる。 スポーツの技術、戦術、ルールの変化について理解できる。 オリンピックムーブメントとドーピングについて理解できる。 スポーツの経済効果とスポーツ産業について理解できる。 いろいろな動きを一人やペアになってできる。 いろいろなトレーニング方法を理解できる。 測定方法とその評価方法が理解できる。	
【選択領域】			
陸上競技 ……A ダンス ……B A,Bの中から 1領域以上選択	走・跳・投の基礎基本 創作ダンス リズムダンス	基礎基本を理解し、記録向上に結びつけることができる。 自己の能力に応じて、感情を自由に表現したり、楽しく踊ったりできる。 作品にまとめ、交流、発表ができる。	
サッカー ソフトボール テニス バレーボール バスケットボール バドミントン ハンドボール ……C(球技) 柔道 剣道 ……D(武道) C,Dの中から 1領域以上選択	基本技能 基本技能 基本技能 基本技能 基本技能 基本技能 基本技能 基本動作 受け身 投げ技 基本動作 打ち込み	パス・ドリブル・シュート等の基本技術をゲームに生かすことができる。 キャッチボール・トスバッティング等の技術をゲームに生かすことができる。 フォアハンド・ストロークやアンダーハンドサーブ等の技術をゲームに生かすことができる。 パス・レシーブ・アタック等の基本技術をゲームに生かすことができる。 パス・ドリブル・シュート等の基本技術をゲームに生かすことができる。 クリア・ドライブ・サーブ等の基本技術をゲームに生かすことができる。 パス・ドリブル・シュート等の基本技術をゲームに生かすことができる。 柔道固有の基本動作ができる。 安全な受け身姿勢ができる。 安全に技をかけて投げることができる。 構え・足さばき・素振りなどの基本動作を習得できる。 面打ち・胴打ち・小手打ちなどの技術を習得できる。	

科目: 体育	単位: 2	学科: 全学科	学年: 2年
教科書: 大修館「現代高等保健体育改訂版」		補助教材: 大修館「Active Sports 2019」	
科目の概要と目標: ・基礎体力の向上と運動技能の習得 ・運動の喜びや楽しさを味わうと共に、安全に対しての配慮ができるようにする。			
単元	学習内容	到達目標	
体育理論	運動やスポーツの効果的な学習の仕方	運動やスポーツの技能の上達過程や体力との関係について、活動時における健康・安全の確保の仕方について理解できる。	
体づくり運動	体の使い方 補強運動 サーキットトレーニング	いろいろな動きを一人やペアになってできる。 いろいろなトレーニング方法を理解できる。	
新体力テスト	記録の測定と評価方法	測定方法とその評価方法が理解できる。	
【選択領域】			
陸上競技 ・・・A	走・跳・投の基礎基本	基礎基本を理解し、記録向上に結びつけることができる。	
ダンス ・・・B	創作ダンス リズムダンス	自己の能力に応じて、感情を自由に表現したり、楽しく踊ったりできる。 作品にまとめ、交流、発表ができる。	
サッカー	基本技能	パス・ドリブル・シュート等の基本技術をゲームに生かすことができる。	
ソフトボール	基本技能	キャッチボール・トスバッティング等の技術をゲームに生かすことができる。	
テニス	基本技能	フォアハンド・ストロークやアンダーハンドサーブ等の技術をゲームに生かすことができる。	
バレーボール	基本技能	パス・レシーブ・アタック等の基本技術をゲームに生かすことができる。	
バスケットボール	基本技能	パス・ドリブル・シュート等の基本技術をゲームに生かすことができる。	
バドミントン	基本技能	クリア・ドライブ・サーブ等の基本技術をゲームに生かすことができる。	
ハンドボール	基本技能	パス・ドリブル・シュート等の基本技術をゲームに生かすことができる。	
・・・C(球技)			
柔道	基本動作 受け身 投げ技	柔道固有の基本動作ができる。 安全な受け身姿勢ができる。 安全に技をかけて投げることができる。	
剣道	基本動作 打ち込み	構え・足さばき・素振りなどの基本動作を習得できる。 面打ち・胴打ち・小手打ちなどの技術を習得できる。	
・・・D(武道)			
A,B,C,Dの中から 2領域以上選択			

科目: 体育	単位: 普通科・生活環境科2、土木科3	学科: 全学科	学年: 3年
教科書: 大修館「現代高等保健体育改訂版」		補助教材: 大修館「Active Sports 2018」	
科目の概要と目標: ・自己の課題やチームの課題を持ち、その課題の解決のために、練習の仕方や試合の仕方を考えたり工夫したりできるようにさせる。			
単元	学習内容	到達目標	
体育理論	豊かなスポーツライフの設計の仕方	各ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方やライフスタイルに応じたスポーツとのかかわり方について理解できる。 スポーツ振興や環境保護について理解できる。	
体づくり運動	体の使い方 補強運動 サーキットトレーニング	いろいろな動きを一人やペアになってできる。 いろいろなトレーニング方法を理解できる。	
新体カテスト	記録の測定と評価方法	測定方法とその評価方法が理解できる。	
【選択領域】			
陸上競技 ・・・A	走・跳・投の基礎基本	基礎基本を理解し、記録向上に結びつけることができる。	
ダンス ・・・B	創作ダンス リズムダンス	自己の能力に応じて、感情を自由に表現したり、楽しく踊ったりできる。 作品にまとめ、交流、発表ができる。	
サッカー	基本技能	パス・ドリブル・シュート等の基本技術をゲームに生かすことができる。	
ソフトボール	基本技能	キャッチボール・トスバッティング等の技術をゲームに生かすことができる。	
テニス	基本技能	フォアハンド・ストロークやアンダーハンドサーブ等の技術をゲームに生かすことができる。	
バレーボール	基本技能	パス・レシーブ・アタック等の基本技術をゲームに生かすことができる。	
バスケットボール	基本技能	パス・ドリブル・シュート等の基本技術をゲームに生かすことができる。	
バドミントン	基本技能	クリア・ドライブ・サーブ等の基本技術をゲームに生かすことができる。	
ハンドボール ・・・C(球技)	基本技能	パス・ドリブル・シュート等の基本技術をゲームに生かすことができる。	
柔道	基本動作 受け身 投げ技	柔道固有の基本動作ができる。 安全な受け身姿勢ができる。 安全に技をかけて投げることができる。	
剣道 ・・・D(武道)	基本動作 打ち込み	構え・足さばき・素振りなどの基本動作を習得できる。 面打ち・胴打ち・小手打ちなどの技術を習得できる。	
A,B,C,Dの中から 2領域以上選択			

科目:保健	単位:1	学科:全学科	学年:1年
教科書:大修館「現代高等保健体育改訂版」		補助教材:「保健体育ノート」	
科目の概要と目標: ・個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。			
単元	学習内容	到達度目標	
現代社会と健康	私たちの健康のすがた 健康のとらえ方 健康と意志決定・行動選択 健康に関する環境づくり 生活習慣病とその予防 食事・運動・休養と睡眠 喫煙・飲酒・薬物乱用 感染症、性感染症とその予防 現代の感染症 感染症の予防 性感染症・エイズとその予防 欲求と適応機制 心身相関とストレス ストレスへの対処 自己実現 交通事故の現状と要因 応急手当 心肺蘇生法の実践	健康問題の時代変化と主な病気の例をあげて説明できる。 様々な健康問題を主体的に考えられるようになる。 予防対策も考えることができる。 感染症防止について主体的に考えられるようになる。 感染症の予防について主体的に考えられるようになる。 欲求不満から生じる不安・悩みに対する適応機制の例をあげて説明できる。 ストレスの原因を説明できる。 対処法を主体的に考えることができる。 自己実現とは何か説明できる。 交通事故の要因を例をあげて説明できる。安全な交通社会づくりの方策を具体的に説明できる。 日常的な応急手当や心肺蘇生法の実践が主体的にできるようになる。	

科目:保健	単位:1	学科:全学科	学年:2年
教科書:大修館「現代高等保健体育改訂版」		補助教材:「保健体育ノート」	
科目の概要と目標: ・個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。			
単元	学習内容	到達度目標	
生涯を通じる健康	思春期と健康 性意識と性行動の選択 結婚生活と健康 妊娠・出産と健康 家族計画と人工妊娠中絶 加齢と健康 高齢者のための社会的取り組み 保健制度とその活用 医療制度とその活用 医薬品と健康 さまざまな保健活動や対策	思春期の体の発達の特徴を説明できる。 性意識の男女差、欲求のあらわれ方の違いを説明できる。 健康な結婚生活を営むための要点を説明できる。 妊娠・出産の過程を説明できる。 家族計画の意義と人工妊娠中絶の条件を説明できる。 加齢の伴う心身の変化を形態面、機能面から説明できる。 高齢社会に対応した施策の具体例をあげて説明できる。 保健行政の役割や医療制度のしくみをおおまかに説明できる。 医薬品の役割について理解し、健康被害を説明できる。 わが国と国際的におこなわれている保健活動について説明できる。	
社会生活と健康	大気汚染と健康 水質汚濁、土壌汚染と健康 健康被害の防止と環境対策 環境衛生活動のしくみと働き 食品衛生活動のしくみと働き 食品と環境の保健と私たち 働くことと健康 労働災害と健康 健康的な職業生活	さまざまな環境問題の発生過程を説明できる。 環境汚染の防止・改善への対策を説明できる。 さまざまな衛生活動を理解できる。 環境や食品からの健康被害を防ぐための対策を説明できる。 食品の安全確保のための具体策を例をあげて説明できる。 労働による傷害や職業病などの労働災害を理解し、改善を含む健康管理について説明できる。	

科目:音楽 I	単位:2	学科:全学科	学年:1年 選
教科書:教育芸術社「MOUSA1」		補助教材:なし	
<p>科目の概要と目標: 歌唱、器楽、創作、鑑賞の幅広い活動を通して、感性を高め、音楽のよさや美しさを感じ取って、創造的な音楽活動の工夫ができる。また、音楽の基礎・基本を身につけるとともに、多様な音楽に対する理解を深める。</p>			
単元	学習内容	到達目標	
美しい歌声	校歌 花 Ave Maria	歌詞やリズムの変化など曲の気分を生かした表現を工夫している。 腹式呼吸による発声で歌うことができる。	
リコーダーアンサンブル	見上げてごらん夜の星を	リコーダーの音色や奏法の特徴を生かして演奏することができる。	
芸術歌曲	野ばら Caro mio ben	原語の特徴や発声に気をつけ、歌唱表現を工夫している。	
世界の諸民族の音楽	声による表現 楽器による表現	声や楽器の音色、それぞれの表現などの特徴を感じ取って、進んで鑑賞している。	
ボディパーカッションを楽しもう	Plymouth Rock リズム創作	テンポやリズムに気をつけ、進んで表現を工夫している。	
西洋音楽史	古代～古典派 ロマン派～現代	それぞれの時代の社会背景や音楽の特徴を理解し、鑑賞する。	
合唱の楽しみ	ふるさと 願い	各声部のかかわりやハーモニーを意識しながら歌うことができる。	
日本歌曲	むこうむこう この道	詩情や語感を生かした表現を工夫している。	
ギターに挑戦	第三の男のテーマ なごり雪 デイ・ドリーム・ビリーバー	タブ譜やコードを見ながら、アル・アイレ奏法やストローク奏法で演奏することができる。	
創作表現の探究	虫のこえ	オノマトペのもつリズム感やアクセントを生かしてアンサンブルを作り、表現を工夫して演奏している。	

科目:美術 I	単位:2	学科:全学科	学年:1年 選
教科書:日本文教出版「高校生の美術1」		補助教材:なし	
<p>科目の概要と目標: 自己を見つめ、幅広い制作や作品に触れることを通して体験を豊かにする。その表現や鑑賞活動を通して、美術に対する見方や考え方を身に付け、美術を身近に意識し関わりをもつことで、豊かな心を育む。</p>			
単元	学習内容	到達目標	
絵画 素描 身近なものを描く	鉛筆基礎描写 鉛筆デッサン(手など) 静物画(絵の具の違い)	手などの対象をしっかりと見ること意識し、集中して描くことができる。2種類の絵の具を扱い、その特性を理解し、生かして描くことができる。	
鑑賞 色彩について デザイン 色彩構成	色の三属性 色相環 色の見え方感じ方 彩色技術	色の三属性(色相・明度・彩度)を確認し、色立体における色の位置関係を理解する。減法混色による色づくりや様々なトーンの混色方法の実習を通して理解し、平・丸・面相筆を活用して平塗りすることができる。色の見え方や感じ方を資料や実習を通して理解することができる。	
Vデザイン 切手デザイン	切手図案の創作 デザインの役割	仮想の国を構想し、その文化や観光等のアピールのための主題を生成し、切手の図案を創作する。色と形や画面の構成を生かして、工夫して表現できる。デザインに関する機能と美しさや著作権について理解することができる。	
鑑賞 美術史 版画	浮世絵 ジャポニズム シュールレアリスム	ジャポニズムや印象派以降の作家や作品の鑑賞を通して、世界とアジア、日本の関係や影響などつながりを理解する。特にシュールレアリスムの表現を味わうことができる。	
版画 エッチング	あり得ない風景	版画表現の多様さを理解し、エッチング技法における表現の特徴を生かして制作できる。ニードルや腐食液、プレス機など道具の扱い方や安全面について理解し扱うことができる。	
Cデザイン・彫刻 天井から吊す立体	立体造形	風に揺れる、美しい造形をテーマに、天井から吊す造形物を制作する。多角度からの見栄えを意識して造形・工夫し、表現することができる。	
絵画 油彩	自画像	対象の立体感や量感、陰影を捉え、自己の表情をよく見て表現することができる。油絵の具の扱い方を理解し、混色や重色の効果を生かしながら、計画的に制作表現することができる。油絵の具の特性を制作過程や作品から理解を深める。	

科目:書道 I	単位:2	学科:全学科	学年:1年 選
教科書:教育図書出版「書 I」		補助教材:なし	
<p>科目の概要と目標: 書道の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育てる。書に親しむ活動を通して、感性を高め、書写能力の向上を図り、自己を主体的に表現するための書道の基礎的な能力を伸ばしていく。書の実しさを感じとる鑑賞の基礎的な能力を伸ばしていくとともに、書の、伝統と文化についての理解を深める。</p>			
単元	学習内容	到達目標	
書写から書道へ	書の分野・用具・用材・執筆法について学ぶ 硬筆の学習	中学校までの書写の学習をふりかえる。姿勢、執筆法などの基本的事項を身につけ、基本的な点画や線質を表現することができる。	
漢字の書(楷書)	古典の臨書(形臨) 「孔子廟堂碑」 「九成宮禮泉銘」 「顔氏家廟碑」 「牛橛造造記」	楷書古典の臨書学習により、基本的な点画や、線質の表し方、用筆法・運筆法を学ぶことができる。各古典の表現の違いを理解し、その特徴を時代と人物を通して鑑賞することができる。	
篆刻	篆刻 朱文印・白文印	作品制作を通して、篆刻の用具の使い方・用材の名称・制作の手順を身に付けることができる。	
漢字の書(行書・隸書)	古典の臨書(形臨) 「蘭亭序」 「風信帖」 「争坐位文稿」 「曹全碑」	古典の臨書を通して、字形や線質の表し方と用筆・運筆の関係を把握し、書者との感興と意図とのかかわりに関心をもつことができる。	
仮名の書	仮名の書の用具・用材 基本的な筆使い 平仮名・変体仮名 仮名の連綿 古典の臨書(形臨) 「高野切第三種」 俳句の創作	仮名の書独特の筆使いに慣れ基本用筆を習得することができる。 単体、連綿の美を感受している。 臨書や創作を通して、運筆の律動制や筆脈を把握し、仮名の書の美を理解することができる。	
漢字仮名交じりの書	創作活動 鑑賞活動	漢字仮名交じりの書を通して、自分らしい表現を求め、意欲的・主体的な活動を通して、自他の表現活動の喜びを味わうことができる。漢字仮名交じりの書を鑑賞し、感じたことを話し合い、自らの鑑賞力を深める。	

科目:コミュニケーション英語 I	単位:3	学科:普通科	学年:1年
教科書:三省堂「Crown English Communication I New Edition」		補助教材:読み物、問題集、単語集、その他	
科目の概要と目標: ・高校英語の基本的な学習事項に習熟し、それらを用いて、読む・書く・聴く・話すの4技能を伸長させる。			
単元	学習内容	到達目標	
Lesson 1	ピクトグラムの話 5文型/助動詞/動名詞	ピクトグラムの有用性と可能性について考える。	
Lesson 2	若田光一さんの話 現在完了形/不定詞	地球人としての生き方を考える。	
Lesson 3	カヌーで太平洋横断 関係代名詞/分詞の形容詞的用法	自然との共生と伝統文化について考える。	
Lesson 4	盲目のピアニスト辻井伸行 過去完了形/関係代名詞what	人生と継続的努力の大切さについて考える。	
Lesson 5	フードバンク活動 関係副詞/SVC	貧困やボランティア活動について考える。	
Lesson 6	ジェーン・グドール博士のインタビュー 分詞構文/it~that...	動植物との共生について考える。	
Lesson 7	坂茂の被災者支援 受動態完了形/seem to...	被災者支援のあり方を考える。	
Lesson 8	20世紀を象徴する写真 仮定法過去/S+V+O1+O2(O2=	20世紀の戦争とその教訓について考える。	
Lesson 9	アンドロイドの進化 部分否定/used to...	人とは何か、ロボットとは何かを考える。	
Lesson 10	漫画ピーナッツ 仮定法過去完了/be to不定詞	人生に本当に必要なものとは何か考える。	

科目:コミュニケーション英語 I	単位:3	学科:土木科	学年:1年
教科書:数研出版 「Revised BIG DIPPER English Communication I」		補助教材:復習プリント	
科目の概要と目標: ・様々な題材の英文を読むことを通して、基礎的な文法や語彙を学ぶとともに、広い視野や豊かな世界観を身につける。			
単元	学習内容	到達目標	
Lesson 1	日本と海外の高校生活の違い 現在形/過去形/進行形	高校生活の違いについて考える。 時制を理解する。	
Lesson 2	パンダの秘密とは 文型/動名詞/不定詞	パンダを取り巻く環境の悪化と、取り組みについて考える。 動名詞・不定詞の働き・用法を理解する。	
Function 1	人を誘う表現	案を提示できる。	
Lesson 3	アンパンマンの生い立ちについて 文型/受動態	「真のヒーロー像」について考える。 態を意識して文を読み取る。	
Lesson 4	電話の歴史について 現在完了/関係代名詞/分詞	携帯電話のメリット/デメリットについて考える。 現在完了・関係代名詞・分詞の形容詞用法の働き・用法を理解する。	
Function 2	依頼・許可の表現	丁寧に依頼できる。	
Lesson 5	ユニバーサルデザイン 比較表現	ユニバーサルデザインの意味や役割を理解する。 比較表現の特徴を知る。	
Lesson 6	小説「ハリー・ポッター」について 過去完了/SVO+to不定詞	発行までの苦労や物語への思いについて考える。 過去完了・SVO+to不定詞の用法に慣れる。	
Function 3	関心を示す表現	相手をほめたり、感謝を示したりできる。	
Lesson 7	身近な乗り物である自転車 分詞構文/SVOC	自転車のメリットや問題点について考える。 分詞構文・文型を把握できる。	
Lesson 8	成人の権利と義務 関係副詞/形式主語	未成年と成人の違いについて考える。 関係副詞・形式主語の用法に慣れる。	
Function 4	感情を表す表現	相手への同情等を示すことができる。	
Lesson 9	フードマイルズ 助動詞/関係副詞/仮定法過去	食品輸入の現状と課題について考える。 助動詞・関係副詞・仮定法過去の用法に慣れる。	
Lesson 10	倫理的思考 間接疑問/関係代名詞/強調構文	倫理的思考の重要性や取得について考える。 間接疑問・関係代名詞・強調構文の用法に慣れる。	
Function 5	主張・賛成・反対を表す表現	自分の意見を率直に表現できる。	
Reading	世界で一番のクリスマスプレゼント	物語から平和の尊さや、人との交流について考える。	

科目: コミュニケーション英語 I	単位: 3	学科: 生活環境科	学年: 1年
教科書: 数研出版 「Revised BIG DIPPER English Communication I」		補助教材: 自作プリント、ワークブック	
科目の概要と目標: ・様々な題材の英文を読むことを通して、基礎的な文法や語彙を学ぶとともに、広い視野や豊かな世界観を身につける。			
単元	学習内容	到達目標	
Lesson 1	世界の高校生活 現在形/過去形/他	日本と海外の高校生活を比較する。 時制を理解する。	
Lesson 2	パンダの秘密 SVC/SVO/準動詞	パンダを取り巻く環境の悪化を考える。 文型と動名詞・不定詞の使い方を理解する。	
Lesson 3	漫画家やなせたかし 受動態/SVOO/ 他	真のヒーロー像について考える。 文型と受動態を理解する。	
Lesson 4	電話の歴史 現在完了/関係詞	電話の進化と携帯電話のデメリットを考える。 現在完了、関係代名詞、分詞の形容詞的用法を理解する。	
Lesson 5	ユニバーサルデザイン 比較/It is …to do…	ユニバーサルデザインの意味や役割を理解する。 比較表現と形式主語の用法を理解する。	
Lesson 6	J.K.ローリング 過去の習慣/過去完了	ハリー・ポッター誕生の裏話 would, used to, 過去完了, SVO to (do)の用法を理解する。	
Lesson 7	自転車 SVOC/分詞構文	自転車の利点、問題点、解決策を考える。 分詞構文、SVOCの用法を理解する。	
Lesson 8	成人とは何か 関係副詞/形式主語	制度的成人と大人らしさを考える。 関係副詞、形式主語、つなぎ表現を理解する。	
Lesson 9	フードマイルズ 関係副詞など	フードマイルズについて知る。 関係副詞、助動詞を含む受動態、仮定法過去を理解する。	
Lesson 10	論理的思考 間接疑問/関係詞他	世界のトップアスリートの論理的思考を知る。 間接疑問、関係代名詞what、one/another/other、強調構文を理解する。	
Reading	最高のクリスマス	平和の尊さや人のつながりを考える。	

科目: 家庭基礎	単位: 2	学科: 普通科	学年: 1年
教科書: 東京書籍「家庭基礎 自立・共生・創造」		補助教材: 「Super Live View 家庭科 資料+食品成分表」 「とやまの高校生ライフプランガイド」	
<p>科目の概要と目標: 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。</p>			
単元	学習内容	到達目標	
自分らしい人生をつくる	青年期の自立生活と意思決定	・男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし、家庭を築くことの重要性について考え、自己の意思決定に基づき、責任をもって行動することの重要性が分かる。	
子どもと共に育つ	子どもの生活と家族・家庭 子どもの育つ環境	・乳幼児の心身の発達と生活、親の役割と保育、子どもの育つ環境について理解し、子どもを生み育てることの意義を考え、子どもの発達のために親や家族および地域や社会の果たす役割について理解を深めることができる。	
ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	ホームプロジェクトの実践 学校家庭クラブ活動	・自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践することを通して生活を科学的に探究する方法や問題解決の能力を身に付ける。	
食生活をつくる	食生活の課題 栄養と食事 食品の安全と衛生 食品と調理	・健康で安全な食生活を営むために必要な栄養、食品、調理及び食品衛生などの基礎的・基本的な知識と技術を実験・実習を通して習得し、生涯を見通した食生活を営むことができる。	
住生活をつくる	住居と家族の生活 安全で環境に配慮した住生活	・住居の機能、住居と地域社会とのかかわりなどに必要な基礎的・基本的な知識と技術を習得し、安全で環境に配慮した住生活を営むことができる。	
経済生活を営む	消費者問題と消費者の権利 生涯の経済計画とリスク管理 消費生活と環境とのかかわり 環境負荷の少ない生活への取組	・消費生活の現状と課題や消費者の権利と責任について理解し、適切な意思決定に基づいて行動できる。生涯を見通した生活における経済の管理や計画について考えることができる。 ・消費生活と環境とのかかわりについて理解を深め、環境負荷の少ない生活について考え、自らの生活意識やライフスタイルを見直すことができる。	
衣生活をつくる	被服の機能と着装 被服の管理と計画	・被服管理に必要な被服材料、被服構成などの基礎的・基本的な知識と技術を習得し、目的に応じて着装を工夫し、健康で快適な衣生活を営むことができる。	
高齢社会を生きる	高齢期の特徴と生活 高齢社会を生きる	・高齢期の特徴と生活および高齢社会の現状と課題について理解し、高齢者の自立生活を支えるために家族や地域および社会の果たす役割について考えることができる。	
共に生き、共に支える	家族・家庭と社会的支援 共生とコミュニティ	・生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解し、家庭や地域および社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性を理解する。	
生活を設計する	生涯の生活設計	・生涯を見通した自己の生活について考え、主体的に生活を設計することができる。	

科目:家庭基礎	単位:2	学科:土木科	学年:1年
教科書:東京書籍「家庭基礎 自立・共生・創造」		補助教材:「Super Live View 家庭科 資料+食品成分表」 「とやまの高校生ライフプランガイド」	
<p>科目の概要と目標: 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。</p>			
単元	学習内容	到達目標	
自分らしい人生をつくる	青年期の自立 生活と意思決定	・男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし、家庭を築くことの重要性について考え、自己の意思決定に基づき、責任をもって行動することの重要性が分かる。	
子どもと共に育つ	子どもの生活と家族・家庭 子どもの育つ環境	・乳幼児の心身の発達と生活、親の役割と保育、子どもの育つ環境について理解し、子どもを生き育てることの意義を考え、子どもの発達のために親や家族および地域や社会の果たす役割について理解を深めることができる。	
ホームプロジェクトと 学校家庭クラブ活動	ホームプロジェクトの実践 学校家庭クラブ活動	・自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践することを通して生活を科学的に探究する方法や問題解決の能力を身に付ける。	
食生活をつくる	食生活の課題 栄養と食事 食品の安全と衛生 食品と調理	・健康で安全な食生活を営むために必要な栄養、食品、調理及び食品衛生などの基礎的・基本的な知識と技術を実験・実習を通して習得し、生涯を見通した食生活を営むことができる。	
住生活をつくる	住居と家族の生活 安全で環境に配慮した住生活	・住居の機能、住居と地域社会とのかかわりなどに必要な基礎的・基本的な知識と技術を習得し、安全で環境に配慮した住生活を営むことができる。	
経済生活を営む	消費者問題と消費者の権利 生涯の経済計画とリスク管理 消費生活と環境とのかかわり 環境負荷の少ない生活への取組	<p>・消費生活の現状と課題や消費者の権利と責任について理解し、適切な意思決定に基づいて行動できる。生涯を見通した生活における経済の管理や計画について考えることができる。</p> <p>・消費生活と環境とのかかわりについて理解を深め、環境負荷の少ない生活について考え、自らの生活意識やライフスタイルを見直すことができる。</p>	
衣生活をつくる	被服の機能と着装 被服の管理と計画	・被服管理に必要な被服材料、被服構成などの基礎的・基本的な知識と技術を習得し、目的に応じて着装を工夫し、健康で快適な衣生活を営むことができる。	
高齢社会を生きる	高齢期の特徴と生活 高齢社会を生きる	・高齢期の特徴と生活および高齢社会の現状と課題について理解し、高齢者の自立生活を支えるために家族や地域および社会の果たす役割について考えることができる。	
共に生き、共に支える	家族・家庭と社会的支援 共生とコミュニティ	・生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解し、家庭や地域および社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性を理解する。	
生活を設計する	生涯の生活設計	・生涯を見通した自己の生活について考え、主体的に生活を設計することができる。	

科目:生活デザインA	単位:2	学科:生活環境科	学年:1年
教科書:実教出版「生活デザイン」		補助教材:「アクティブ家庭科三訂版2020」 「とやまの高校生ライフプランガイド」	
<p>科目の概要と目標: 人の一生と家族、家庭及び福祉、消費生活、食生活に関する知識と技術を習得し、生活の充実向上を図る能力と実践的態度を育てる。</p>			
単元	学習内容	到達目標	
自分らしい生き方と家族	自分を見つめる 自立した生き方 共に生きる人生、家族 家族に関する法律 労働と生活時間	<ul style="list-style-type: none"> ・人生の基盤を築く大切な時期であることが理解できる。 ・家族の機能や形態とその変化が理解できる。 	
高齢者とかかわる	高齢社会に生きる 高齢者を知る 豊かな高齢期を迎えるしくみ	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢社会の現状について理解できる。 ・加齢に伴うからだと心の変化が分かる。 ・高齢者の経済面・生活面について理解し、それを支えるサービスを知る。 	
社会とかかわる	支えあう暮らし 私たちの社会福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・支え合う社会の仕組みについて理解し、地域に即した社会福祉のあり方を考える。 	
家庭クラブ活動	地域社会の一員としてのボランティア活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動について理解を深める。 	
食生活をつくる	私たちの食生活 日本の食卓の課題 これからの食生活を考える	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の意義が分かる。 ・日本の食生活にかかわる諸問題について理解できる。 	
子どもとかかわる	子どもの生活 親の役割と保育 すこやかに育つ環境	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの生活習慣を理解し、遊びを通して育つことが分かる。 ・家庭・親の役割と責任について理解する。 ・子育て支援や環境について考える。 	
子どもとふれあう	保育所訪問	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの生活の様子と保育士の仕事内容を知る。 	
消費行動を考える	社会の変化と消費生活 消費者の権利と責任 持続可能な社会環境	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭経済のしくみを理解する。 ・消費者としての自覚を持ち、主体的に判断する。 ・地球環境に配慮した消費生活を考える。 	

科目:生活デザインB	単位:2	学科:生活環境科	学年:1年
教科書:実教出版「生活デザイン」		補助教材:「アクティブ家庭科三訂版2020」 「家庭科問題集基礎編」	
<p>科目の概要と目標: 衣生活や住生活に関する知識と技術を習得し、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的態度を育てる。</p>			
単元	学習内容	到達目標	
衣生活をつくる	衣服の機能 衣服の素材	<ul style="list-style-type: none"> ・被服の機能を科学的に理解し、目的に応じた被服の選択や、ライフステージに応じた健康で快適な衣生活を主体的に営むことができる。 ・被服材料や被服の構成及び身体寸法と衣料サイズとの関係を理解できる。 	
	衣生活の管理 衣生活と資源・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・被服の入手、洗濯、保管など、衣生活を管理する知識や技術を習得し、購入、活用、再利用、廃棄なども考えた被服計画が立てられる。 ・衣生活にかかわる歴史や文化を継承し、衣生活を創造的に実践することができる。 	
衣生活のデザインと実践	被服の構成 人体の形や動作及び被服材料との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・着用目的にあった被服材料及び被服の構成の選択が必要であることを科学的に理解できる。 ・被服の構成を理解し被服を製作するための基礎的・基本的な縫製技術を習得できる。 	
被服の構成と製作	被服の製作 (アウターパンツ) ・採寸、型紙の作成 ・縫製 ・仕上げ	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的な製作の流れを考え、見通しをもって作業を進めることができる。 	
住生活をつくる	住居の機能と管理	<ul style="list-style-type: none"> ・健康で安全かつ快適な生活を営むために必要な住居の機能と維持管理の重要性について理解できる。 	
	家族のライフステージと住居	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯を見通した適切な住居を選択することができる。 	
	快適な住空間の設計	<ul style="list-style-type: none"> ・快適で機能的な住生活を営むために必要な平面設計やインテリア計画ができる。 	
	環境に配慮した住生活 住文化の継承と住生活の創造	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境や社会環境と調和した住生活について理解できる。 ・住生活にかかわる歴史や文化を継承し、住生活を創造的に実践することができるようにする。 	
ホームプロジェクト実践	課題の設定、計画、実践	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の家庭生活から、生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践することを通して生活を科学的に探究する方法や問題解決の能力を身に付ける。 	

科目: 社会と情報	単位: 2	学科: 普通科	学年: 2年
教科書: 実教出版「最新社会と情報新訂版」		補助教材: 「最新社会と情報 新訂版 学習ノート」	
<p>科目の概要と目標: 情報及び情報技術を活用するための基礎的な知識を身につけ、情報社会に主体的に対応しようとする態度を育成するとともに、情報モラルを踏まえた適切な判断ができるようにする。</p>			
単元	学習内容	到達目標	
1章 情報社会と私たち	1. 情報社会 2. 情報とメディア 3. 情報モラルと社会のルール	<ul style="list-style-type: none"> ・情報や知識についての意味を理解する。□ ・個人情報の意味と個人情報保護法について理解する。 ・情報とメディアの関係, メディアの分類を理解する。 ・各表現メディアの特性について理解する。 	
2章 情報機器とデジタル表現	1. 情報機器とデジタル 2. デジタル表現	<ul style="list-style-type: none"> ・アナログとデジタルの意味について理解する。 ・情報量の概念と単位について理解する。 ・2進数・10進数・17進数の相互変換ができるようにする。 ・文字のデジタル表現について理解する。 ・音声の標本化, 量子化, 符号化について理解する。 ・周波数・周期の関係や, 標本化定理について理解する。 ・デジタルでのカラー表現の原理について学ぶ。 	
3章 表現と伝達	1. 表現の工夫 (実習) 2. 表計算ソフトの利用 (実習) 3. プレゼンテーション (実習) 4. Webページの利用	<ul style="list-style-type: none"> ・情報伝達する際の留意点について学ぶ。 ・表計算ソフトへのデータ入力について実習で学ぶ。 ・各種のグラフとその特徴について学ぶ。 ・表計算ソフトを使ってグラフを作成する。 ・表計算ソフトの関数の利用について理解する。 ・プレゼンテーション実施の流れについて学ぶ。 ・プレゼンテーションのリハーサルや実施上の留意点について理解する。 ・Webサイト制作の流れについて理解する。 ・Webサイト制作実習を通じて, 文字, 画像の表示やリンクの設定を学ぶ。 	
4章 コミュニケーションとネットワーク	1. コミュニケーション 2. ネットワーク 3. 情報セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ・メディアの変遷によるメリット・デメリットについて理解する。 ・IPアドレスやドメインについて学び, 実習でIPアドレスを確かめる。 ・WWWについて学び, ブラウザでWebページを表示する仕組みについて理解する。 	
5章 法規とセキュリティ	1. 情報システムと人間 2. 問題解決 3. 情報発信 (グループワーク)	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の責任を自覚し, 他者の権利を尊重する態度を身に付ける。 ・知的財産権の構成について理解する。 ・コンピュータウイルスの種類や被害の状況, 及びその対策について理解する。 ・情報セキュリティポリシーの目的・内容や実際の事例について学ぶ。 ・サイバー犯罪の種類と具体例を理解し, 受信者のリスクや対策について考える。 ・デジタルデバイスなど情報社会の課題について考える。 ・問題解決の過程を理解する。 ・問題解決のための手段の選択について考える。 ・ブレインストーミング, KJ法などアイデアの収集と分類について学ぶ。 	

科目:情報の科学	単位:2	学科:普通科	学年:2年
教科書:実教出版「最新情報の科学新訂版」		補助教材:「最新情報の科学 新訂版 学習ノート」	
<p>科目の概要と目標: 情報及び情報技術を活用するための基礎的な知識を身につけ、情報社会に主体的に対応しようとする態度を育成するとともに、情報モラルを踏まえた適切な判断ができるようにする。</p>			
単元	学習内容	到達目標	
1章 情報とコンピュータ□	1. 情報の表し方	<ul style="list-style-type: none"> ・2進数と10進数の関係を学ぶ。 ・整数や実数の表現方法を学ぶ。 ・整数の負の表現方法を学ぶ。 ・文字はコンピュータ内部では2進数で表されることや文字コードについて学ぶ。 ・音は数値や文字と同じように2進数で表されることを学ぶ。 ・画像も、2進数で表されることを学ぶ。解像度や画像の情報量についても学ぶ。 	
	2. コンピュータでのデジタル表現	<ul style="list-style-type: none"> ・アナログとデジタルの違いやデジタル化の特徴について学ぶ。 ・ビットや情報量について学ぶ。 ・図形、動画についての概念を学ぶ。 	
	3. コンピュータの仕組み	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの構成や動作について学ぶ。 ・論理演算と簡単な論理回路について学ぶ。 	
2章 ネットワークの仕組みと情報システム	1. ネットワークの仕組み	<ul style="list-style-type: none"> ・IPアドレスやドメインについて学び、実習でIPアドレスを確かめる。 ・WWWについて学び、ブラウザでWebページを表示する仕組みについて理解する。 	
	2. 情報システムと情報セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータウイルスの種類や被害の状況、及びその対策について理解する。 ・情報セキュリティポリシーの目的・内容や実際の事例について学ぶ。 	
3章 問題解決のためのコンピュータの活用	1. 問題解決	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の過程を理解する。 ・処理手順の工夫例について学ぶ。 	
	2. アルゴリズム	<ul style="list-style-type: none"> ・アルゴリズムの基本構造について学ぶ。 	
	3. モデル化とシミュレーション	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル化の概念や手順について学ぶ。 ・シミュレーションの手順について学ぶ。 ・時間的に変化する現象のシミュレーションについて学ぶ。 ・確率的に変化する現象のシミュレーションについて学ぶ。 	
	(実習)	<ul style="list-style-type: none"> ・シミュレーション結果が正しいか、モデル化が適切であったかを考える。 	
4章 ネットワークとデータベースの活用	1. ネットワークの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・データベースの概念や特徴について学ぶ。 	
	2. データベース	<ul style="list-style-type: none"> ・データの共有、データとプログラムの独立管理、障害対策、機密保護について学ぶ。 	
5章 情報技術と社会	1. 情報化による生活の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・データベースの分類やその歴史について学ぶ。 	
	2. 情報技術による社会の発展	<ul style="list-style-type: none"> ・受発信における責任について学ぶ。 ・個人情報とプライバシーについて学ぶ。 	
	(グループワーク)	<ul style="list-style-type: none"> ・知的財産権の保護について学ぶ。 ・情報化社会で生きる態度などを学ぶ。 	

科目:工業技術基礎	単位: 2	学科:土木科	学年:1年
教科書:実教出版「工業技術基礎」		補助教材:なし	
<p>科目の概要と目標: 工業における基礎的技術を総合的な実験・実習によって体験させ、工業技術に関する広い視野を養い、工業の発展をはかる意欲的な態度を育てる。</p>			
単元	学習内容	到達目標	
人と技術と環境	人と技術	人と技術の関わりについて、産業社会、職業生活、産業技術を理解させるとともに、関連する職業資格及び知的財産権についても理解できる。	
	技術者の使命と責任	安全な製品の製作や構造物の設計・施工、法令遵守など工業技術者としての使命と責任について理解できる。	
基礎的な生産技術	環境と技術	環境保全についての関心を高めできる。	
	生産の流れと技術	基礎的な加工技術を用いた工業製品の製作や模型の製作などを通して、専門分野の生産に関する基礎的な技術を習得できる。	
	基礎的な分析及び測定技術	計測、計量、測量、検査、試験、分析等の基礎的な技術を取り上げ、習得できる。	
基礎的な加工技術	形態を変化させる加工	木材を用いて、切削加工、成形加工、接合・切断加工など、形態を変化させる加工の基礎的な技術を習得できる。	
	質を変化させる加工	混合、融解、相変化、化学反応など質を変化させる加工の基礎的な技術を習得できる。	

科目:情報技術基礎	単位:2	学科:土木	学年:2年
教科書:実教出版「情報技術基礎新訂版」		補助教材:プリント類、パソコン機器	
<p>科目の概要と目標: コンピュータの構造や動作原理を理解することで、コンピュータ活用能力を身につける。実習を通じ市販アプリケーションの基本的な操作法をマスターする。ワープロ検定の取得を目指す。</p>			
単元	学習内容	到達目標	
現代社会とコンピュータ	1. 情報と生活 2. コンピュータの特徴 3. ハードウェアとソフトウェア 4. コンピュータの基本構成	・現代社会におけるコンピュータのかかわりを正しく理解できる。 ・ソフトウェアとハードウェアの概念を正しく理解できる。	
第3章 ソフトウェア	1. ソフトウェアの基礎 2. プログラム作成に必要なソフトウェア 3. アプリケーションソフトウェア	・OSの目的・役割等を正しく理解し、プログラムを作成する流れ、様々なソフトがどのような役割を持っているか理解できる。	
第7章 ハードウェア	ケタの重みを理解する 1. データの表し方 WORD文章作成	・2進数、16進数の変換が正しく出来るか。四則演算が出来るか。 ・WORDを用いて簡単な文章の作成ができる。	
第7章 ハードウェア	2. 論理回路の基礎 3. 処理装置の構成と動作 4. 周辺装置	・論理回路から出力される答えを正しく導き出せるか。 ・処理がどのような過程で行われるかを理解できる。	
実習	ワープロ検定	・ワープロ検定3級程度の文章入力、文章作成が出来るかどうか。	
表計算	表、グラフ	・EXCELを用いて簡単な表、グラフの作成ができる。	
第8章 データ通信・マルチメディア	1. ネットワーク 2. マルチメディアの活用	・様々な用語について正しく理解ができる。	
実習	プレゼンテーション	・パワーポイントを用い、プレゼンテーションを作成することができる。	

科目:課題研究	単位:3	学科:土木科	学年:3年
教科書:なし		補助教材:専門教科 各教科書他	
<p>科目の概要と目標: 土木分野に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、統合を図るとともに問題解決能力や自発的、創造性を育てる。</p>			
単元	学習内容	到達目標	
作品製作	テーマ毎に班分けする。	与えられた研究テーマから研究内容を設定する。 これまでに習得した知識や技術を活用し、更に新しい知識と技術を学びながら作品を完成させる。	
	1 計画 ①テーマ ②年間計画	施工場所確認、目的・目標の確認、仕様、予算についての検討。	
	2 事前調査 ①現地調査 ②基本計画	現況について下調べ。	
	3 図面・見積 ①設計図 ②積算・見積	図面を作成し、必要な材料・物品を検討する。	
	4 施工、管理 ①実施 ②問題点の解決	計画通りに作業を進める。 運用してみて問題があれば改善する。	
	5 中間発表 ①資料作成 ②発表	ガンピなどにこれまでの取り組みをまとめ、中間発表する。	
	6 成果の確認・片付け	施工前、施工後の比較。	
	7 プレゼンテーション準備 ①資料作成 ②プレゼン準備	・パワーポイントを使い自分たちが行った研究をまとめることができる。	
	8 発表	・班で協力し、わかりやすい発表ができる。	
職業資格の取得	学習方法の企画・立案・実践	取得を希望する職業資格や各種検定試験の学習を通して、専門的な知識や技術を習得させ、自らの進路意識を高め、適切な進路選択に役立てさせる。	

科目:生活産業基礎	単位:1	学科:生活環境科	学年:1年
教科書:実教出版「生活産業基礎」		補助教材:なし	
<p>科目の概要と目標: 衣食住、ヒューマンサービスなどに関する生活産業や関連する産業への関心を高め、必要な知識と技術を進んで習得し活用する意欲と態度を育てる。</p>			
単元	学習内容	到達目標	
生活産業基礎を学ぶ	産業構造の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・生産や消費の中心が「もの」から情報やサービスに移っていく経済のソフト化、サービス化が理解できる。 	
	社会の変化と価値観の多様化	<ul style="list-style-type: none"> ・生活に対する価値観、働き方やライフスタイルが多様化している現状が理解できる。 	
	生活産業の発展	<ul style="list-style-type: none"> ・働き方やライフスタイルの多様化が生活産業へのニーズの変化となり、それらを的確に捉えた商品・サービスが提供されていることが理解できる。 	
食生活関連分野の産業と職業	食生活の変化と生活産業のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活にかかわる産業の意義と役割について理解できる。 	
	生活関連産業の職業と資格	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活に関する資格や職業について興味、関心をもつことができる。 	
ヒューマンサービス関連分野の産業と職業	社会の変化とヒューマンサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒューマンサービスにかかわる産業の意義と役割について理解できる。 	
	ヒューマンサービス関連産業の職業と資格	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒューマンサービスにかかわる資格や職業について興味、関心をもつことができる。 	
衣生活関連分野の産業と職業	衣生活の変化と産業のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活にかかわる産業の意義と役割について理解できる。 	
	衣生活関連産業の職業と資格	<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活に関する資格や職業について興味、関心をもつことができる。 	
職業生活と自己実現	生活産業基礎講演会	<ul style="list-style-type: none"> ・生活産業の職業人に求められる資質や能力として、人や生活に対する理解、衣食住、ヒューマンサービスにかかわる専門的な知識や技術、コミュニケーション能力などがあることが分かる。 	

令和2年度シラバス

科目:生活産業基礎	単位:1	学科:生活環境科	学年:2年
教科書:実教出版「生活産業基礎」		補助教材:なし	
<p>科目の概要と目標: 衣食住、ヒューマンサービスなどに関する生活産業や関連する職業への関心を高め、必要な知識と技術を進んで習得し、活用する意欲と態度を育てる。</p>			
単元	学習内容	到達目標	
生活の変化に対応した商品・サービスの提供	消費者ニーズの把握	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者ニーズをはじめとした情報の収集の必要性を認識できる。 ・市場調査の方法と手順を理解する。 ・商品開発に関心をもち、企画や開発のプロセスが分かる。 	
	商品・サービスの開発及び販売・提供	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬テーマを元にした商品やメニューの開発を通して、専門職従事者の業務内容に対して理解する。 ・商品やサービスを提供するためのシステムを理解できる。 ・職業に関する法規、契約や税の仕組みを理解する。 	
住生活関連分野の産業と職業	関連法規		
	住生活分野	<ul style="list-style-type: none"> ・注文住宅、企画住宅の建築設計や販売にかかわる産業、住宅販売、インテリアやリフォームにかかわる産業についてその意義と役割を理解する。 	
店舗企画実習	店舗企画	<ul style="list-style-type: none"> ・生活産業や関連する職業に必要な知識と技術を進んで習得し、職業人として活用しようとする。 	
職業生活と自己実現	・職業生活と生きがい	<ul style="list-style-type: none"> ・生活産業の職業人に求められる資質や能力として、人や生活に対する理解、衣食住、ヒューマンサービスにかかわる専門的な知識や技術、コミュニケーション能力などがあることが分かる。 	
	・将来の生活と学業	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な資質、能力、知識や技術は専門科目の学習を通して身に付けていくことができることを、資格の取得や将来のスペシャリストを目指した学習プランを立てることなどを通して具体的に理解し、学習に対する意欲を高める。 	

科目:生活産業情報	単位:2	学科:生活環境科	学年:2年
教科書:実教出版「生活産業情報」		補助教材:「windows8対応30時間でマスターoffice2016」 日商PC検定文書作成3級合格教本	
<p>科目の概要と目標: 情報通信社会における情報の意義や役割を理解し、情報処理に関する知識と技術の習得をするとともに生活産業の各分野で情報及び情報手段を活用する能力と態度を育てる。</p>			
単元	学習内容	到達目標	
情報化の進展と生活産業	生活とネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> 生活産業における情報化の進展について理解を深めることができる。 	
情報モラルとセキュリティ	情報モラルとマナー セキュリティ管理	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク社会における危険性や問題点を理解し、セキュリティ管理を行い、情報モラルとマナーを守ってネットワークを活用することができる。 	
情報機器と情報通信ネットワーク	ハードウェア ソフトウェア 情報通信ネットワークのしくみと利用	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータなどの情報機器の仕組みやハードウェアとソフトウェア及び情報通信ネットワークの仕組みについて理解し、コンピュータの基本操作を習得する。 	
生活産業における情報の収集・処理・分析・発信	情報の収集	<ul style="list-style-type: none"> 情報通信ネットワークを利用して、衣食住、保育、ヒューマンサービスにおける情報を収集する。 	
	情報の処理	<ul style="list-style-type: none"> 収集した情報をデータベース化し、各種アプリケーションソフトウェアによる情報処理ができる。 	
	情報の分析	<ul style="list-style-type: none"> 消費者のニーズやデータの分析を、表計算ソフトウェアを利用して行うことができる。 	
	情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> プレゼンテーションソフトウェアを用いて商品企画等のプレゼンテーションを行うことができる。 	
生活産業における情報手段の活用	生活産業分野での活用	<ul style="list-style-type: none"> CAD/CAMシステム、シミュレーションシステム、データベースシステム、商品管理システムなどに触れ、具体的な事例に触れて理解する。 実際に生活産業の中で活用されている様々な情報システムを取り上げ、主体的に活用できるようにする。 	

科目: 課題研究	単位: 3	学科: 生活環境科	学年: 3年
教科書: なし		補助教材: なし	
<p>科目の概要と目標: 生活産業の各分野に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、統合を図るとともに問題解決能力や自発的、創造性を育てる。</p>			
単元	学習内容	到達目標	
オリエンテーション 研究及び調査の手法を学ぶ テーマの決定 年間学習計画作成 調査・研究・実験 作品製作 職業資格の取得 研究のまとめ 研究発表	研究方法の確認 テーマの設定方法 計画の作成方法 調査方法 アンケートの実施及び活用方法 研究テーマの設定 年間計画作成 資料収集 実態調査 調査、研究、実験 各種資格取得 発表資料の作成 ・PowerPointの活用 ・Wordの活用 発表資料作成 報告書作成 校内発表会	<ul style="list-style-type: none"> ・課題研究の学習意欲や今後の心構えを理解する。 ・研究の手順や手法を理解する。 ・書籍等の各種情報を活用した調査方法を理解する。 ・アンケートを作成し、Excelを活用したグラフ化や分析・考察することができる。 ・意欲的に取り組める課題を見付けることができる。 ・研究目標を的確に把握し、年間計画が作成できる。 ・研究内容に沿った資料を様々な方法で収集できる。 ・目的を理解し、的確な方法で実態調査ができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・検定内容や条件を確認し、能率良く制限時間内に実施することができる。 ・自ら学習計画を立案し、その計画に基づいて知識と技術の深化、総合化を図り、生活産業に関する課題の解決に取り組むことができるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・調査、研究、実験の結果を考察し、研究内容を適切にまとめることができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・決められた様式で、成果をまとめることができる。 ・結果を分析し、分かりやすく報告書にまとめることができる。 ・効果的なプレゼンテーションができる。 ・これまでの研究を振り返り、適切な自己評価ができる。 	